

令和6年9月28日10時現在

1. 活動状況について

- DIEMAS(緊急時透析情報共有マッピングシステム)を活用し、都内透析医療機関の被災状況を確認し、厚生労働省へ報告した。(次ページ表1参照)
- 被災した医療機関における支援要請患者数と、透析継続可の医療機関における受入可能患者数を確認し、患者の振り分けを調整中。
- 都内で振り分けできない患者がいる可能性が高いため、埼玉県・神奈川県と受入れ可能人数を確認中。
- 断水している透析医療機関のうち、透析用水の支援を要請している医療機関(次ページ表2参照)を把握し、保健医療福祉調整本部に支援を要請中(保健医療福祉調整本部で調整の上、水道局へ要請)。

2. 把握した保健医療福祉に係るニーズについて

- 患者を他地域の医療機関に振り分けるにあたっての搬送手段の確保
- 透析用水の確保 → 支援を要請している医療機関に対する給水車の派遣

表1 透析医療機関の被災状況(9月28日10時時点)

二次保健医療圏	透析医療機関の被災状況 (透析不可医療機関 ／全透析医療機関)	支援要請患者数	二次保健医療圏	透析医療機関の被災状況 (透析不可医療機関 ／全透析医療機関)	支援要請患者数
区中央部	25／39	485	西多摩	0／13	0
区南部	24／38	1065	南多摩	4／44	46
区西南部	22／46	1034	北多摩西部	0／24	0
区西部	21／39	847	北多摩南部	7／28	258
区西北部	29／65	1139	北多摩北部	4／20	214
区東北部	34／55	2055	多摩 計	15／125	518
区東部	20／42	1046			
区部 計	175／324	7671	都内合計	190／453	8189

表2 透析用水の支援要請(貯水槽・自家発電あり)

二次保健医療圏	支援要請透析医療機関名	二次保健医療圏	支援要請透析医療機関名
区中央部	・Aクリニック	区西部	・Eクリニック ・F診療所
区南部	・Bクリニック	区西北部	・Gクリニック
区西南部	・Cクリニック ・Dクリニック	区東北部	・Hクリニック
		区東部	・Iクリニック ・Jクリニック

災害時透析医療ネットワーク

1. 活動状況について

令和6年9月28日14時現在

- 引き続き、DIEMAS(緊急時透析情報共有マッピングシステム)を活用し、最新の都内透析医療機関の被災状況を確認。
- 被災した医療機関における支援要請患者数(8,174人)と、透析継続可の医療機関における受入可能患者数(5,480人)を確認し、患者の振分けを調整した。
- 都内で受入れできない患者(2,694人 うち1日目入院349人)について、埼玉県・神奈川県を受入れ可能人数を確認し、埼玉県(1,300人うち入院250人)への支援を要請した(神奈川県は受け入れ不可)。受入れできない患者(1,384人うち1日目入院99人)について、更に、茨城県・群馬県・栃木県と調整することとする。
- 断水している透析医療機関のうち、透析用水の支援を要請している医療機関を把握し、保健医療福祉調整本部へ、引き続き支援を要請中。

2. 把握した保健医療福祉に係るニーズについて

- 患者を他地域の医療機関に振り分けるにあたっての搬送手段(4,386人分)の確保
- 他県で透析を実施するための搬送手段(2,694人分)及び宿泊施設(2,694人分)の確保
- 透析用水の確保 → 支援を要請している医療機関に対する給水車の派遣

ブロック内で調整できなかった患者の受入れ先

	患者数 (1日目入院患者)	受入れブロック
区中央部	▲ 471 (31)	西多摩440
区南部	▲ 1023 (54)	南多摩914、北多摩西部55
区西南部	▲ 777 (24)	南多摩753
区西部	▲ 644 (20)	北多摩南部624
区西北部	▲ 1094 (45)	北多摩北部585、北多摩西部464
区東北部	▲ 2055 (120)	残り1935
区東部	▲ 1016 (55)	北多摩西部350、西多摩103、南多摩78、北多摩南部20、残り410
区部合計	▲ 7080 (349)	